

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 0 歳児からの口腔機能育成事業</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人愛知県歯科医師会 会長 内堀典保</p>
<p>3. 実施組織： 【主催】(一社)愛知県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： 8020 達成型社会イメージ図が妊婦、つまり胎児期からスタートしている事は、歯科医療の関わりが、ライフステージの基盤となるスタート時期こそ最も重要と捉えていると考えられる。このため、むし歯や歯周病の予防知識に加え、正しい顎位で支える体幹育成や離乳食指導などを通じた口腔機能の育成、生活習慣の確立など、歯が萌出していなくとも歯科として関わり指導するための知識を啓発するため、保育士・幼稚園教諭・県民向けに口腔機能の育成を中心とした講演会を開催するとともに他職種向けリーフレットを作成し、配布した。</p>
<p>5. 事業の内容： 1) 歯科医からのアドバイス「赤ちゃんのお口の育ち」リーフレットの配布 摂食に関わる機能発達が著しい乳幼児期に、摂食嚥下の指導を受ける事は、豊かな食生活を送るための基礎となるが、この取り組みについてまだ十分に浸透していないのが現状である。このため保健所・保健センター、会員診療所および保育の現場で等を通して啓発するため、他職種向けのリーフレット「子どもの育ちに関わる方々へ ～歯科医からのアドバイス～ 赤ちゃんのお口の育ち」を作成し、配布した。 2) 0 歳児からの口腔機能育成講演会「知っておきたい！ 赤ちゃんからのお口の発育アドバイス」の開催 (1) 実施日時：2018 年（平成 30 年）3 月 11 日（日曜日） (2) 開催場所：愛知県歯科医師会会館 2 階「歯～とびあホール」 (3) 目的：からだど口の成長発育、機能発達が著しい乳幼児期に歯科医療機関で正しい指導を受ける事は、生涯にわたり豊かな食生活を送るための基礎となる。そこで乳幼児期、正しい顎位で支える体幹育成や離乳食指導などを通じた口腔機能育成、乳幼児期における口腔の発育と食育をテーマに講演会を企画開催し、多数の参加者があった。 (4) 対象者：愛知県民・県内幼稚園・保育園教諭・行政関係者及び県歯会員 講演 1：「お腹の中から始める口腔保健と発育支援」 講師：赤ちゃん歯科ネットワーク 代表 石田房枝 先生 講演 2：「赤ちゃんから食べられる口づくり」 講師：愛知県歯科医師会 地域保健部 I オブザーバー 今泉三枝先生 参加者数：307 名</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：乳幼児期における口腔の発育と食育を啓発していくことは、歯科医療従事者としての責務と考えられることから、今後郡市区における研修会の開催、歯科医師会員への研修等をおこない、助産師、保育士等とも連携することにより、本取り組みを普及浸透させていくことが必要である。</p>